のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表1

1　教育・保育施設

番号	区分	担当課	量の見込みと確保の内容	令和7年度進捗状況		令和8年度進捗状況			計画数（B）					確保策推進等についての考え方
				実績数	進捗状況の説明	実績数 A	（実績数 －計画数） A-B	進捗状況の説明 （確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況や、実績数と計画数との乖離理由等について記載のこと）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	1号認定（満3歳以上、幼稚園を利用希望）	保育課	1　必要利用定員総数	1,415	私立幼稚園利用者の総数が減少しており、また約4割の利用者が市外の幼稚園に通園している状況は変わっていない。引き続き、既存園の意向を尊重しながら、認定こども園等への移行への対応ができるよう検討を進めていく。	1,304	236	令和8年4月より1園が新制度移行した。私立幼稚園利用者の総数が減少しており、また約4割の利用者が市外の幼稚園に通園している状況は変わっていない。引き続き、既存園の意向を尊重しながら、認定こども園等への移行への対応ができるよう検討を進めていく。	1,190	1,116	1,093	1,068	1,065	小金井市における私立幼稚園、国立大学附属幼稚園、認定こども園（幼稚園分）の定員数の合計は1,164人となっています。幼稚園は、居住する市区町村以外に所在する園への通園が可能であり、子ども・子育て支援に関するニーズ調査にもあるように、市内の未就学児童の一部は市外の幼稚園に通園しています。 今後は、認定こども園の新設や、既存の幼稚園・保育施設が認定こども園へ移行を希望する場合の受入れ体制づくりを進め、円滑な認定こども園への移行により幼稚園の利用ニーズに対応します。また、現状よりも多くの児童が地域の施設に通園できる体制を整えるとともに、既存の幼稚園に対する認定こども園制度に関する情報提供・周知に努めます。 さらに、幼稚園利用ニーズに対する更なる対応や、幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、今まで以上に幼稚園と市との連携を進めていく必要もあります。私立幼稚園協会等との情報提供・交換による相互理解、幼稚園各園の共通した課題等に対する支援を行うことにより、教育・保育の総合的な質の維持、向上を図っていきます。
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	180		272	205		75	70	69	67	67	
			上記以外	1,235		1,032	31		1,115	1,046	1,024	1,001	998	
			2　確保の内容	1,415		1,304	236		1,190	1,116	1,093	1,068	1,065	
			特定教育・保育施設	180		279	128		151	151	151	151	151	
			確認を受けない幼稚園	800		590	71		519	519	519	519	519	
			市外の幼稚園	435		435	37		520	446	423	398	395	
			過不足（2-1）	0		0	0		0	0	0	0	0	
2	2号認定（満3歳以上、保育所を利用希望）	保育課	1　必要利用定員総数	1,887	前年度まで待機児童数は0名が続いていたが、前年度から申請者が大幅に増加し、令和7年4月現在の待機児童数は6名となった。未就学児の人口減少が見込まれる中、定員の適正化が課題となる。	1,875	190	前年度から申請者が増加し、令和8年4月現在の待機児童数は10名となった。 未就学児の人口減少が見込まれる中、定員の適正化が課題となる。	1,800	1,709	1,702	1,685	1,702	令和5年度及び令和6年度に待機児童数ゼロを達成しました。共働き家庭等の増加に加え、幼児教育・保育の無償化の開始によって、今後も引き続き一定の保育ニーズがあるものと見込まれるため、引き続き保育ニーズの動向を注視してまいります。 保育定員の確保数については、定員に空きが生じている年齢もあり、新規開設は行わず、今後、各年齢の定員数に対し柔軟に対応できるよう計画数を見込みます。
			2　確保の内容	2,308		2,237	△ 36		2,273	2,273	2,273	2,273	2,273	
			特定教育・保育施設	2,226		2,164	△ 62		2,226	2,226	2,226	2,226	2,226	
			地域型保育事業	0		0	0		0	0	0	0	0	
			認可外保育施設	82		73	26		47	47	47	47	47	
			過不足（2-1）	421		362	△ 226		473	564	571	588	571	
3	3号認定（0歳）	保育課	1　必要利用定員総数	244		310	47		257	257	259	263	261	
			2　確保の内容	337		309	△ 36		345	345	345	345	345	
			特定教育・保育施設	296		280	△ 22		302	302	302	302	302	
			地域型保育事業	23		20	△ 3		23	23	23	23	23	
			認可外保育施設	18		9	△ 11		20	20	20	20	20	
			過不足（2-1）	93		△ 1	△ 83		88	88	86	82	84	
			保育利用率	39.3%		34.2%	△3.18%		38.40%	38.30%	38.00%	37.40%	37.70%	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表1

4	3号認定（1歳）	保育課	1 必要利用定員総数	659		673	64		585	590	598	609	614	
			2 確保の内容	630		622	△ 5		627	627	627	627	627	
			特定教育・保育施設	548		541	△ 6		547	547	547	547	547	
			地域型保育事業	46		48	2		46	46	46	46	46	
			認可外保育施設	36		33	△ 1		34	34	34	34	34	
			過不足（2-1）	△ 29		△ 51	△ 69		42	37	29	18	13	
			保育利用率	68.3%		69.8%	2.2%		69.2%	69.1%	68.4%	67.6%	67.5%	
5	3号認定（2歳）	保育課	1 必要利用定員総数	648		661	△ 26		659	664	674	687	690	令和5年度及び令和6年度に待機児童数ゼロを達成しました。共働き家庭等の増加に加え、幼児教育・保育の無償化の開始によって、今後も引き続き一定の保育ニーズがあるものと見込まれるため、引き続き保育ニーズの動向を注視してまいります。 保育定員の確保数については、定員に空きが生じている年齢もあり、新規開設は行わず、今後、各年齢の定員数に対し柔軟に対応できるよう計画数を見込みます。
			2 確保の内容	697		698	△ 4		702	702	702	702	702	
			特定教育・保育施設	625		613	△ 12		625	625	625	625	625	
			地域型保育事業	40		41	1		40	40	40	40	40	
			認可外保育施設	32		44	7		37	37	37	37	37	
			過不足（2-1）	49		37	22		43	38	28	15	12	
			保育利用率	75.8%		78.7%	2.9%		77.7%	77.4%	76.6%	75.8%	75.6%	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

2　地域子ども・子育て支援事業

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考)		令和7年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方
						実績数	のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	実績数	進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	利用者支援事業[基本型]	こども家庭センター児童青少年課	妊産婦及び18歳未満の子どもと子育て家庭	子どもとその保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所において、当事者目線の寄り添い型の支援を実施。基本型には、実施日数などの要件により、Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型の3つの実施形態がある。	実施か所数（か所）	1	令和6年9月、こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を、市内で1か所目の地域子育て相談機関として指定し、相談事業を開始した。事業の開始にあたり、国・都の事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置した。	5	【こども家庭センター】 こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を地域子育て相談機関として指定し、0～18歳までの子育てに関する相談を受けました。本事業では利用者支援事業基本型Ⅰによる事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置しました。 【児童青少年課】 利用者支援事業基本型Ⅲの実施機関として、児童館全館を地域子育て相談機関に指定し、地域における子育て支援の充実を図りました。	5	5	5	6	6	小金井市においては、令和6年9月、こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を、市内で1か所目の地域子育て相談機関として指定し、相談事業を開始しました。事業の開始にあたり、利用者支援事業基本型Ⅰによる事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置しています。 今後、全ての妊産婦、子どもと子育て世帯が、気軽に相談できる身近な相談機関として、市内の地域子育て支援拠点や子育て支援を行う施設・事業所において、利用者支援事業の枠組みによる補助を活用した地域子育て相談機関の整備を検討し、地域で安心して子育てができる環境整備を進めていきます。
	利用者支援事業[特定型]	保育課	妊産婦及び未就学児童と子育て家庭	子どもやその保護者が、幼稚園・保育所での教育・保育や、一時預かり等の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、個々のニーズを把握し情報提供や相談を含めた支援を行う事業	実施か所数（か所）	1	引き続き保育所等入所相談支援員（2名）を配置し、窓口・電話での保育相談に対応している。 令和7年4月入所の申請件数は811件であり、例年と比べると減少しているが依然として保育希望者からの相談・問合せは多い。ニーズに合わせた保育サービスの情報提供や、関係機関との連携を行うため、引き続き相談支援の質の向上が必要である。	1	引き続き保育所等入所相談支援員（2名）を配置し、窓口・電話での保育相談に対応している。 令和8年4月入所の申請件数は892件あり、令和7年4月入所の申請件数811件より増加し、保育希望者からの相談・問合せも多くなっている。ニーズに合わせた保育サービスの情報提供や、関係機関との連携を行うため、引き続き相談支援の質の向上が必要である。	1	1	1	1	1	多様化する保育ニーズに対応し、様々な保育サービス、子育て支援等に関する情報提供や相談等を行うため、保育所申請窓口に保育所等入所相談支援員を配置し、平成26年度から実施をしています。利用者支援事業については、今後も引き続き、保育所等入所相談支援員により、主に教育・保育サービスに関する利用者支援の窓口として実施していきます。また、相談の中で把握された育児、発達等の支援を必要とする家庭に対しては、各機関へのガイド役として相談に応じていきます。
	利用者支援事業[こども家庭センター型]	こども家庭センター	妊産婦及び18歳未満の子どもと子育て家庭	こども家庭センターとは、児童福祉法等の一部を改正する法律（令和4年法律第66号）により、従来の子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うことを目的として設置されることが市町村の努力義務とされた機関です。 母子保健機能と児童福祉機能を一体的な組織として運営することにより、両部門の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応や個々の家庭に応じた切れ目ない支援を行う事業	実施か所数（か所）	1	R5.3月から出産・子育て応援事業が開始し、妊婦面談を実施した方へ、昨年度から引き続き実施している育児パッケージ（1万円）と併せてギフト券（5万円）を配布している。妊婦面談実施率は94.5%であった。面談未実施の方には電話相談等を実施し、丁寧に対応している。	1	母子保健と児童福祉が連携・協働して、すべての妊産婦及び子どもとその家庭等を対象とし、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施するとともに、子どもと子育て家庭からの相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援や虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた対応を行う相談支援体制を構築しました。併せて、特定妊婦や産後うつ等、特に支援が必要な方への対応や、地域資源の開拓など、多様なニーズに対応できるような体制整備を行いました。	1	1	1	1	1	母子保健と児童福祉が連携・協働して、すべての妊産婦及び子どもとその家庭等を対象として、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施するとともに、子どもと子育て家庭からの相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援や虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた対応を行う相談支援体制を構築します。併せて、特定妊婦や産後うつ等、特に支援が必要な方への対応や、地域資源の開拓など、多様なニーズに対応できるような体制整備を行います。

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
	地域子育て相談機関事業	児童青少年課 こども家庭センター	妊産婦及び18歳未満の子どもとその家庭	地域の住民からの子育てに関する相談 に応じ必要な助言を行うほか、必要に応じ、こども家庭センターと連絡調整を行うとともに、地域の住民に対し、子育て支援に関する 情報の提供を行う事業	実施か所数（か所）			5	【こども家庭センター】 こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を地域子育て相談機関として指定し、0～18歳までの子育てに関する相談を受けました。本事業では利用者支援事業基本型Ⅰによる事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置しました。 【児童青少年課】 全児童館で実施している「子育てひろば（地域子育て支援拠点）」を地域子育て相談機関として（利用者支援事業基本型（Ⅲ型）の実施機関と位置づけて）実施し、こども家庭センター等と継続的に連携しながら、 地域の子育て家庭に対 し、交流・情報提供・相談機能を提供している。	5	5	5	6	6	小金井市においては、令和6年9月、こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」を、市内で1か所目の地域子育て相談機関として指定し、相談事業を開始しました。事業の開始にあたり、利用者支援事業基本型Ⅰによる事業補助を活用し、専任の地域子育て利用者支援専門員を配置しています。 今後、全ての妊産婦、子どもと子育て世帯が、気軽に相談できる身近な相談機関として、市内の地域子育て支援拠点や子育て支援を行う施設・事業所において、利用者支援事業の枠組みによる補助を活用した地域子育て相談機関の整備を検討し、地域で安心して子育てができる環境整備を進めていきます。
	利用者支援事業 [妊婦等包括相談支援事業型]	こども家庭センター	妊産婦とその配偶者等	妊産婦・その配偶者等に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談等や継続的な情報発信等を行うとともに、必要な支援につなぐ等、妊婦のための支援給付事業と効果的に組み合わせ、伴走型相談支援を行う事業	量の見込み（回）					2,214	2,217	2,235	2,271	2,256	妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援の充実のため、妊婦のための支援給付事業と組み合わせながら、切れ目ない支援の推進を図っていきます。
					確保の内容（回）			1,515	妊娠期及び出産期に妊婦給付事業と組みあ合わせ、出産・育児等に関する情報提供及び相談等を実施しました。	2,271	2,271	2,271	2,271	2,271	
										実施体制：市保健師等 実施機関：こども家庭センター（保健センター）					
2	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）	こども家庭センター	0歳	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業	量の見込み（人）					989	990	999	1,014	1,008	出生後提出される「赤ちゃん連絡票（出生通知）」に基づき訪問を行っています。様々な事情により連絡票が未提出となっている家庭に対しても、電話や直接訪問、不在連絡票の投函等の対応を行い、訪問の勧奨を行う等、全ての家庭へ訪問する体制を整えています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続して実施していきます。
					確保の内容（人）	941	令和6年度の実訪問人数は　889人、延べ訪問数は941人であった。令和6年度の赤ちゃん連絡票届け出数は907人であり、令和6年度の新生児訪問率は98.0 %となった（実人数）。 ※各家庭の状況に鑑み、必要に応じて複数回訪問実施。	1,022	訪問総数（延数）は1,022件実施しました。	1,014	1,014	1,014	1,014	1,014	
										実施体制：市保健師及び委託で実施 実施機関：こども家庭センター 委託団体等：母子保健推進員（保健師、助産師有資格者等）					

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
3	妊婦健康診査事業	こども家庭センター	妊婦	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業	量の見込み（人）					905	906	914	928	922	妊娠届出書の提出時、妊婦の健康の保持増進を図るために、妊婦健康診査等の受診票等を配布しております。全ての妊婦が安心して出産・育児を迎えられるように、医学的検査及び医療機関での保健指導等が受けられる体制の整備を図ります。
					確保の内容（人）	877	妊婦健康診査1回目877人 妊婦健康診査2回目以降8,897人 超音波検査3071人 子宮頸がん検診849人 里帰り等妊婦健康診査助成申請者138人 里帰り等超音波検査助成申請者29人 里帰り等子宮頸がん検診助成申請者7人	882	妊婦健康診査1回目882人 妊婦健康診査2回目以降9,194人 超音波検査3,354人 里帰り等妊婦健康診査助成申請者118人 里帰り等超音波検査助成申請者23人 里帰り等子宮頸がん検診助成申請者3人	928	928	928	928	928	
										実施場所：都内契約医療機関（都外医療機関等で受診の場合は現金給付） 検査項目：計14回、現在の検査項目を引き続き実施 妊婦超音波検査 妊婦子宮頸がん検診					
4	産後ケア事業	こども家庭センター	乳児とその母で、産後ケアを必要とする方	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保をし、もって子育て支援の充実を図ることを目的に実施する事業	量の見込み（人）					1,143	1,143	1,154	1,172	1,164	利用者アンケートでの利用者の満足度が高い事業で、事業開始以降拡充を図ってきました。現在は、市内及び近隣の2機関で実施し、デイサービス型のほかに宿泊型も行っています。使いたい方が使いたい時に使えるよう、量や利便性等を考慮した環境整備が必要です。今後、アウトリーチ（訪問）型の導入や、新たな実施機関の確保による、提供体制の充実を進めていきます。
					確保の内容（人）			1,439	市民のニーズも高く、利用者アンケートでは満足度が高い事業です。令和7年度より委託施設を2施設から9施設に増やし、これまでの宿泊型、デイサービス型に加えアウトリーチ型を新たに実施し、母子が産後に安心して過ごせる環境づくりに努めました。 宿泊型323人 デイサービス型600人 アウトリーチ型516人	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172	
										実施体制：委託で実施 実施場所：医療機関（病院）、助産院、利用者自宅（アウトリーチ）					
5	子育て短期支援事業（ショートステイ）	こども家庭センター	未就学児童・就学児童	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等において、必要な保護を行う事業	量の見込み（人/年）					604	587	587	587	588	2歳から中学校就学前までの児童を対象に、定員2名で事業を実施しています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっており、事業を継続して実施していきます。0歳～1歳児の預かりや、地域での預かりのニーズに対応するため、里親ショートステイなどの実施の可能性についても研究していきます。
					確保の内容（人/年）	730	育児疲れ等による利用希望が一定量あり、児童虐待対応の側面も持つ事業である。令和6年度は延40人65泊の利用があった。子育て家庭を支える事業であるため、今後も継続実施する。	730	2歳から中学校就学前までの児童を対象に、定員2名で事業を実施しました。	730	730	730	730	730	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容			令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
6	地域子育て支援拠点事業	児童青少年課 こども家庭センター	未就学児童及びその保護者	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う居場所を開設し、子育てについての相談、情報提供等を行う事業	量の見込み（人/月）							5,188	5,199	5,249	5,322	5,312	現在、国の法定事業として、児童館4館での子育てひろばと、こども家庭センターでの親子遊びひろばにより事業を実施しています。現在の量の見込みは現在の提供体制を上回っています。 また、法定事業以外の独自の取組として、学童保育所で市の独自事業として実施しているひろば事業や、市内の各認可保育園においても子育て中の親子の交流や育児相談等を実施しています。 今後は、こども家庭センター親子あそびひろばは、（仮称）新福祉会館への移設を予定しており、市の中心部への移設による利用者の増が見込まれます。また移設後にも、移設前のこども家庭センター親子あそびひろばの、地域利用者やボランティア等の繋がりを維持するため、貫井北地域におけるひろば機能の維持の方策についても検討していきます。 市内各所において、地域の子育て支援の拠点となるひろば事業を維持・充実することにより、保護者が子どもを連れて容易に利用できる地域の居場所作りを促進し、地域に根差した子育て基盤の整備を図っていきます。
					確保の内容		（人/月）	3,233		3,424		3,350	3,350	3,350	5,143	5,143	
							（か所）	5		5		5	5	5	6	6	
						児童館の子育てひろば事業	（人/月）	1,493	児童館全館で子育てひろばを開設。 また、学童保育所において開設しているひろば事業では年間5,446人（月平均545人）の利用があった。	1,528	児童館全館で子育てひろばを開設。 また、学童保育所において開設しているひろば事業では年間5,446人（月平均545人）の利用があった。	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	
							（か所）	4		4		4	4	4	4	4	
						こども家庭センター親子遊びひろば事業	（人/月）	1,740	月平均1,740名の親子が来所。年々利用者が増加しており多くの利用者に子育て相談や情報提供が行えている。引き続き、感染防止対策に努めながら、事業を実施していく。	1,896	親子遊びひろばにて乳幼児及びその保護者、プレママ・プレパパや祖父母等幅広い市民の方に相互の交流を行う居場所を提供し、子育てについての相談や情報提供等など子育て支援を実施した。	1,631	1,631	1,631	3,424	3,424	
							（か所）	1		1		1	1	1	2	2	
7	病児保育事業	保育課	未就学児童	児童が病気の回復期に至らない場合で当面の症状の急変が認められない場合、又は、病気の回復期で集団保育が困難な場合で、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等で、一時的に保育する事業	量の見込み（人日/年）							3,209	3,120	3,117	3,115	3,120	現在、保育所等に入所している児童を対象に、病児・病後児保育室2施設、認可保育所における体調不良児対応型1施設が事業を実施しています。子ども・子育て支援に関するニーズ調査では、回答者の41.5%が「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答しており、一定のニーズがあることを把握しています。 今後は、各施設の運営状況及び地理的な状況を踏まえつつ、施設の増設について検討します。
					確保の内容（人日/年）			2,430	病後児保育 R5末に事業廃止 病児保育（3か所） 受託実績　944人／年	2,248	病児保育（3か所） 受託実績　682人／年 ※ 3か所のうち、1カ所は7月末事業廃止、1開所は10月に開所	3,018	3,018	3,018	3,018	3,018	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
8	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター（就学後））	こども家庭センター	就学児童	児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業	量の見込み（人日/年）					1,460	1,446	1,402	1,362	1,300	会員数、活動件数ともに増加傾向にあります。より多くの協力会員を確保していくため、引き続き、様々な広報活動を通じた会員募集や、依頼会員への協力会員登録への働きかけ等を行います。共働き家庭の増加などによる多様なニーズにも対応して行くため、今後も引き続き研修等を通して質の高い協力会員の確保を進め、「相互援助組織」としての更なる活性化を図っていきます。また、病児・病後児預かり（病児・緊急対応強化事業）の導入などの検討も行っていきます。
					【低学年】量の見込み					1,115	1,091	1,045	1,010	955	
					【高学年】量の見込み					345	355	357	352	345	
					確保の内容（人日/年）	1,209	核家族化、共働き家庭が増えている背景がある中、利用者が年々増加しており、非常にニーズの高い事業である。保護者の様々なニーズに対応し、引き続き協力会員の確保に努めていく。	1,377	利用者数は増加傾向にある。病児・病後児の支援も実施した。保護者の働き方によって利用者数増減はあるものの、様々な理由でニーズの高い事業である。引き続き協力会員の確保に努める。	1,460	1,446	1,402	1,362	1,300	
9	延長保育事業（時間外保育）	保育課	未就学児童	保育所在園児を対象に、保護者の就労等の事情により、通常保育時間を超えて保育を実施する事業	量の見込み（人）					1,056	1,030	1,034	1,038	1,045	認可保育所全園で延長保育を実施しており、在園児童が認定されている保育時間を超えた保育を希望する場合のニーズに対応しています。保育標準時間認定では、11時間を超えて利用する場合に延長保育となり、保育短時間認定では、8時間を超えて利用する場合に延長保育となります。延長終了時間は、市立保育所は19時まで、私立保育所は各園により19時から20時30分の間で時間が異なります。今後も既存の保育施設において継続的な実施体制の維持を図ります。
					確保の内容（人）	963	公立保育園5園、私立保育園等39園で18時以降の延長保育を実施した。	900	公立保育園5園、私立保育園等40園で18時以降の延長保育を実施した。	1,056	1,030	1,034	1,038	1,045	
10	放課後児童健全育成事業（学童保育）	児童青少年課	就学児童のうち、小学校1年生～3年生（障がいのある児童は小学校4年生まで）	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る事業	【低学年】 量の見込み（人）					1,658	1,714	1,783	1,886	1,954	現在、多くの学童保育所が定員の超過状態にあり、更なる受け入れ体制の充実が、引き続き課題となっています。小学校1年生から3年生（障がいのある児童は小学校4年生）までの低学年児童のみを受け入れている現状においても、既に定員超過状態にある一方、計画期間中において低学年の量の見込みは約2割増加する見込みです。 定員確保については、保育がより必要な学齢である低学年児童の受け入れを最優先として行い、高学年児童の放課後の居場所等の確保については、放課後子ども教室事業や児童館事業等を活用する他、子どもの放課後の過ごし方の課題として検討していきます。 今後の学童保育所の運営・整備に当たっては、児童の安全性、保育の質の確保等を踏まえ、民間活力や公共施設の活用等、緊急対応の必要なところから優先的に保育環境の整備を進めます。 特に、運営にあたっては、サービスの向上を目的とした開所時間のさらなる延長並びに障がいのある児童の受入学年の拡大等、放課後児童健全育成事業に求められる役割の向上等についても、市民ニーズ等を踏まえ、検討します
					1年生					600	640	625	704	713	
					2年生					543	588	629	616	689	
					3年生					515	486	529	566	552	
					【低学年】 確保の内容（人）	1,160	本市では入所受付期間内の申請は入所要件を満たす限り、全員の入所を承認しており、令和6年4月1日現在の入所児童数は1,618人（うち民設民営学童保育所入所児童は34人）であった。需要が増加している入所希望者に対応するため、令和6年度には民設民営学童保育所施設整備事業費補助金を活用した民設民営学童保育所として、「メガロス東小金井学童クラブ」が開所した。	1,240	本市では、入所受付期間内の申請は、入所要件を満たす限り全員の入所を承認しており、令和7年4月1日現在の入所児童数は1,667人（うち民設民営学童保育所入所児童は55人）であった。需要が増加している入所希望者に対応するため、令和7年度には民設民営学童保育所施設整備事業費補助金を活用した民設民営学童保育所として、市内2所目となる「けやきの森アフタースクールOKAERI」が新たに開所した。	1,240	1,320	1,400	1,480	1,560	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
	放課後子ども教室事業	生涯学習課	就学児童	放課後の学校施設を利用して、子どもたちが安全に遊べる場所を提供し、多彩なプログラムを実施しています。小学校全学年を対象とし、保護者の就労に関わらず利用できる事業	確保の内容（開催回数（回））	1,541	放課後子ども教室の運営・実施を行うことで子どもたちの心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行った。参加人数は131,909人であり、有償スタッフは9,146人、無償ボランティアスタッフは87人となった。週に5回の開催校が9校まで増え,すべての学校での実施となった。	1,565	放課後子ども教室の運営・実施を行うことで子どもたちの心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行った。参加人数は、120,490人であり、有償スタッフは9,149人、無償ボランティアスタッフは178人となった。現在も週に5回の開催校が9校であり、すべての小学校での実施となっている。	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	放課後子どもプラン運営委員会、小学校ごとのコーディネーター、放課後子どもプラン協議会及び学習アドバイザー等の地域住民の方々の協力等も得ながら、子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、学校開校日における月曜日から金曜日までの放課後子ども教室全日開催を行っています。今後、学校以外の場所での開催も視野に入れていきます。また、特別な配慮を要する児童への対応には、スタッフを増やすなどの必要な措置を行います。
	両事業の連携について	児童青少年課 生涯学習課					放課後子ども総合プラン協議会を南小学校で開催した。学校関係者、児童青少年課、生涯学習課、放課後子ども教室コーディネーターが参加し、情報の共有や開催場所、開催時間等を含めた放課後の子どもの居場所に関する今後の課題について検討を行った。 その他、学童の利用状況により、関係者への相談調整等を行った。		放課後子ども総合プラン協議会を小金井第一小学校と前原小学校で開催した。学校関係者、児童青少年課、生涯学習課、放課後子ども教室コーディネーターが参加し、情報の共有や開催場所、開催時間等を含めた放課後の子どもの居場所に関する今後の課題について検討を行った。 その他、学童の利用状況により、関係者への相談調整等を行った。						小金井市では、令和元年度までに全小学校区（校内交流型6校、連携型3校）で放課後子どもプラン協議会を設置しています。 協議会では、共通プログラムと学校施設の活用に関すること、及び放課後の子どもの居場所に関する情報共有について協議し、放課後子ども教室共通プログラムの企画段階から、学童保育所の指導員と放課後子ども教室のコーディネーターが連携して内容等を検討します。合わせて、連携型で共通プログラムを実施する場合は、プログラム終了後に安全に児童が移動できるよう、両事業担当者の連絡、情報交換を密にします。 また、放課後子どもプランの担当者が個別に各小学校を訪問し、学校関係者と話し合う機会を持ち、特別教室、体育館、校庭、図書室等学校施設の一時利用を促進します。 教育委員会と子ども家庭部の連携のため、総合教育会議を活用し、総合的な放課後対策について協議をします。
11	一時預かり事業（トワイライトステイを含む）	保育課 こども家庭センター	①幼稚園在園児 ②在園児以外は未就学児童	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童について、保育所等において児童を一時的に預かる事業	①幼稚園等における一時預かり										市内幼稚園等6園で預かり保育が実施されています。共働き世帯の増加により2号認定（保育の必要性あり）が見込まれる児童の幼稚園（幼児期の学校教育）希望が一定程度見込まれ、一時預かり事業の量の見込みが実績を上回っています。市内幼稚園の教育方針や運営体制を尊重しながら、連携を取り確保していきます。また、市外の幼稚園利用児童についても、各園での預かり保育の実施状況に基づき利用ニーズに対応していきます。
					量の見込み合計（人日/年）					23,002	21,733	21,503	21,180	21,287	
					幼稚園の在園児を対象とした一時預かり（1号認定見込み）					4,379	4,138	4,094	4,032	4,053	
					幼稚園の在園児を対象とした一時預かり（2号認定見込み）					18,623	17,596	17,409	17,147	17,234	
					確保の内容（人日/年）	17,869	一時預かり（平日実施5園）16,376人／年 一時預かり（長期休業日実施3園）1,493人／年	17,869	一時預かり（平日実施5園）16,376人／年 一時預かり（長期休業日実施3園）1,493人／年	17,869	17,869	17,869	17,869	17,869	
					②保育園等における一時預かり										現在、認可保育所11園、ファミリー・サポート・センターにおいて一時預かりのニーズに対応しています。特に私立の認可保育所においては、新規開設や既存施設の改修にあわせて、東京都が実施する独自の一時預かり事業（余裕活用型など）も実施しています。 他方で、近年の待機児童の解消に伴い、定期利用型については利用者数が減少してきています。 各家庭が一時預かり事業を必要とする事由は多様なことから、それらのニーズに対応できるよう、一定の提供体制を維持していくことが必要です。 ファミリー・サポート・センター事業は多様なニーズへの対応が必要であり、多くの協力会員を確保していく必要があります。今後も引き続き研修等を通して質の高い協力会員の確保を進めるとともに、依頼会員に対する協力会員登録の働きかけ等を通して、「相互援助組織」としての更なる活性化を図っていきます。
					量の見込み（人日/年）					13,796	13,446	13,437	13,428	13,449	
					確保の内容（人日/年）	11,892		12,148		13,631	13,521	13,518	13,515	13,522	
					保育園の一時預かり（在園児対象型以外）	7,165	（実績ベース） 緊急一時　508人／年 非定型的　106人／年 私的理由　3247人／年 定期利用　3304人／年	6,882	（実績ベース） 緊急一時　396人／年 非定型的　81人／年 私的理由　3155人／年 定期利用　3250人／年	8,482	8,482	8,482	8,482	8,482	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容		令和6年度進捗状況(参考) 実績数	令和6年度進捗状況(参考) のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	令和7年度進捗状況 実績数	令和7年度進捗状況 進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	計画数 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	確保策推進等についての考え方
						子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）	4,705	核家族化、共働き家庭が増えている背景がある中、利用者が年々増加しており、非常にニーズの高い事業である。保護者の様々なニーズに対応し、引き続き協力会員の確保に努めていく。	4,056	利用者数は増加傾向にある。病児・病後児の支援も実施した。保護者の働き方によって利用者数増減はあるものの、様々な理由でニーズの高い事業である。引き続き協力会員の確保に努める。	3,939	3,829	3,826	3,823	3,830	トワイライトステイ事業は、令和6年9月から市内保育施設において事業を開始しました。衛生・安全面に配慮しつつ事業を実施していきます。
						子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	22	令和6年度7月から登録受付、9月から預かりを開始し、保護者の就労や育児疲れ等に対応している。	1,210	保護者が仕事その他の理由により平日夜間不在となり、子どもの養育が困難になった場合に、市が指定する施設で夕方から夜間にかけて子どもを預かった。	1,210	1,210	1,210	1,210	1,210	
12	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	保育課	保育所及び幼稚園等を利用していない満3歳未満の子ども	全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化することを目的に、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者等の就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育施設等が利用できる制度	量の見込み（人日/年）						―	12,672	12,672	12,672	12,672	満3歳未満の未就園児の利用希望が一定程度見込まれることから、令和8年度からの本格実施に向け、利用ニーズを見極めながら、提供体制を整備していくことが必要です。
					確保の内容（人日/年）				21,384	令和7年度中に9施設、総利用定員81人の認可・確認手続を行い、令和8年4月1日から事業を開始。利用状況等を踏まえて、計画の見直しも含めて検討を行う。	―	12,672	12,672	12,672	12,672	
13	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	保育課		特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業												令和5年度から「小金井市地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業」を開始し、認可保育所等以外の多様な集団活動を用いた保育等を提供する施設の利用者に対して利用料の補助を行っています。今後も国や都の動向を踏まえ、必要な事業について検討を行います。
14	実費徴収に係る補足給付を行う事業（世帯の所得の状況等を勘案して物品購入に要する費用等の全部又は一部を助成する事業）	保育課	未就学児童	各施設において実費徴収を行うことができることとされている、①食事の提供に関する費用及び②日用品、文房具等の購入に要する費用等について、低所得世帯等を対象に費用の一部を補助する事業	確保の内容		実施	昨年に引き続き、新制度未移行幼稚園の在籍児童を含む未就学児童の給食副食費等の補助を行った。 令和6年度実績　38人/年	実施	昨年に引き続き、新制度未移行幼稚園の在籍児童を含む未就学児童の給食副食費等の補助を行った。 令和7年度実績　28人/年	実施	実施	実施	実施	実施	国の検討状況、都や他自治体の動向を踏まえて、対象者に対して助成します。
15	養育支援訪問事業	こども家庭センター	要支援児童、要保護児童、特定妊婦等	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。正式名称は「養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業	量の見込み（人）						42	42	42	42	42	乳児家庭全戸訪問事業や関係機関からの通告や個々のケースワークを通して把握される、養育支援が特に必要な家庭に対して、こども家庭センターがその必要性等を判断し、こども家庭センターケースワーカー又は専門相談支援員を派遣しています。令和6年度から、家事育児への援助は、子育て世帯訪問支援事業へと移管されたため、本事業では相談支援を継続します。現在、必要性が認められた家庭に対しては全件派遣を実施しています。現在の事業実施体制でも量の見込みを受入れることは可能となっているため、事業を継続していきます。 様々な問題を抱えた家庭に対する事業であるため、相談支援の質が保たれるよう、こども家庭センターのケースワーカー及び専門相談支援員へのアドバイザー事業によるケース検討会（年6回）を継続し、ケース対応力の強化を図っていきます。
					確保の内容（人）		7	支援が必要な家庭にヘルパー派遣・専門相談を実施した。児童福祉法改正により令和6年度からヘルパー派遣の部分については新設した子育て世帯訪問支援事業で実施している。	7	支援が必要な家庭にこども家庭センターケースワーカーおよび専門相談支援員を派遣・専門相談を実施した。	42	42	42	42	42	
											実施体制：こども家庭センターケースワーカーおよび専門相談支援員の派遣により実施 実施機関：こども家庭センター					

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表2

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	令和6年度進捗状況(参考)		令和7年度進捗状況		計画数					確保策推進等についての考え方
						実績数	のびゆくこどもプラン　小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）における実績値	実績数	進捗状況の説明（確保策推進等についての考え方に照らし、進捗状況等について記載のこと）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
16	子育て世帯訪問支援事業	こども家庭センター	要支援児童、要保護児童、特定妊婦等	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とした事業	量の見込み（人）					365	365	365	365	365	児童福祉法等の一部を改正する法律（令和4年法律第66号）において、養育支援訪問事業が保健師等による専門的な相談支援に特化したものへと見直され、同事業において行われてきた家事・養育に係る援助や子育てに関する情報の提供その他必要な支援については、「子育て世帯訪問支援事業」として新設されました。 小金井市では、従来の養育支援訪問事業おける、家事・養育支援等は、市内の事業所への委託により実施してきました。法改正に伴い、家事・養育支援等を本事業へ引き継ぎ、令和6年4月1日以降も継続して事業を実施していきます。また、委託事業所への研修や連絡会の継続により、訪問支援員の質の充実に努めます。
					確保の内容（人）			242	・子育て世帯訪問支援事業（育児支援ヘルパー）　利用者数15人、延べ利用数242回 支援が必要な家庭に育児支援ヘルパーを派遣した。また訪問支援者研修や派遣事業所との連絡会を開催し、質の向上及び連携を図った。	365	365	365	365	365	
										実施体制：委託により実施 実施機関：こども家庭センター 委託団体等：ヘルパー派遣事業所（4事業所					
17	児童育成支援拠点事業	子育て支援課	0～17歳	養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行うとともに、児童及びその家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、児童の最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的とした事業											本事業については、包括的な支援を実施する機能を有するものであり、今後、対象年齢や実施場所等、実施に向けた体制の整備について検討を行っていきます。
18	親子関係形成支援事業	こども家庭センター	支援が必要と認められる児童及びその保護者等	児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設ける等その他の必要な支援を行うことにより、親子間における適切な関係性の構築を図ることを目的とした事業	量の見込み（人）					78	79	79	79	79	年間を通して様々なイベントやグループワークが行われ、地域の親子の集いの場として親しまれている、親子遊びひろば「ゆりかご」において、新たな委託事業として実施します。親子遊びひろばスタッフや、こども家庭センター保健師及び子ども家庭相談支援員が、事業の中で把握した、親子関係形成に支援が必要と思われる親子に利用の勧奨を行い、適切な親子関係の構築を支援します。
					確保の内容（人）			70	1回5日間コース、年2回開催、各回8人参加 児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設け、親子間における適切な関係性の構築を図った。	80	80	80	80	80	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

目標1　子どもの最善の利益が守られる

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子どもオンブズパーソン（児童青少年課） **＜重点事業＞**	子どもの気持ちを尊重し、子ども自身が「もう大丈夫」と思えるようになること、自ら課題を解決できるようになることを大切にしながら、相談・救済に取組み、子どもの権利に関する普及啓発活動を行う。	「子どもオンブズパーソン」についての（市民）認知度（%）	子ども 9.5 （中・高校生世代のみ） 大人 17.1	―	―	―	―	子ども 25.0 大人 20.0	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	【相談・救済】 新規相談件数57件。子どもが初回から直接相談に来るケースが半数以上（31件）を占め、その他初回が大人の相談についても、子ども自身から話を聞く活動を心掛け、最終的に全体の約7割（38件）の子どもたちから直接話を聞くことができた。総活動回数は345件。 【普及啓発】 その他相談室の周知及び子どもの権利の普及啓発活動を実施。令和7年度は市立小学校に加え市立中学校でも授業を実施した。 市立小学校全校「子どもの権利学習」（1，005人） 市立中学校全校「子どもの権利学習」（738人） 【周知活動】令和7年度は、オンブズクリスマスえんにち、学童保育所出張交流会を実施した。 【課題】 未就学児とその世帯及び子どもとかかわりのない世帯に対する周知啓発活動が課題となる。 認知度向上のための継続的な周知啓発活動に加えて、周知が行き届きていない市民への啓発策を検討する。また、安定的な運用のため、相談・調査専門員の資向上研修なども引き続き行っていく。
										子ども・子育て会議意見	
2	虐待対応事業（こども家庭センター） **＜重点事業＞**	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	虐待相談件数（件）	1,862	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	虐待相談件数（件）2,670件　　ケース検討会開催回数（回）39回 虐待相談件数は前年度に比べてやや減少した。引き続き母子保健係と連携しており、母子保健事業を通じて気になる家庭を把握した際に通告があったほか、学校への連携の呼びかけが浸透し、学校からの通告も入っている。 なお、ケース検討会議開催回数は、必要に応じて実施した。 引き続き、関係機関との連携を密に、役割分担のもと、早期発見・早期対応に努める。
					2,670						
			ケース検討会開催回数（回）	42	維持	維持	維持	維持	維持		
					39					子ども・子育て会議意見	

1-2. 普及啓発を促進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子どもの権利学習の推進（児童青少年課） ＜重点事業＞	子ども自身が子どもの権利について理解を深めるための取組を実施する。	権利学習の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	引き続き、市立小学校全校で権利学習の授業を実施することができた。 令和7年度は市立小学校9校で計1005人の小学校6年生に授業を実施した。 さらに、令和7年度から市立中学校でも「子どもの権利学習」を開始。 令和7年度は、市立中学校5校で計738人の中学生に授業を実施した。 中学校の授業は小学校で学んだテーマから一歩進んで、子どもの権利が守られていないときはどんな時か、普段の生活の中で起こりうる事例をもとに、ワークを通して主体的に考え、ワークの結果を周囲の生徒と話し合うことで、同じ事例でも人によって感じ方・考え方が違うことを実践的に理解できるよう、授業内容を変える工夫をしている。
										子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

2	子どもの権利についての意識啓発の強化 （児童青少年課） ＜重点事業＞	「（仮称）子どもの権利の日」など、子どもの権利について市民全体で考えるきっかけをつくるとともに、保護者をはじめとする大人への啓発・周知を行う。	更なる啓発・周知の実施	－	検討	実施	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和7年度は、令和8年11月20日の（仮称）子どもの権利の日の制定に向け、子ども子育て会議の下部組織である権利部会での検討や、条例案のパブリックコメント等を実施し、制定に向けた検討を進めてきた。
										子ども・子育て会議意見	

1-3. ⁝児童虐待防止等の対策とヤングケアラーの支援を行います

番号	事業名称 （担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	虐待防止啓発事業 （こども家庭センター） **＜重点事業＞**	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	要保護児童対策地域協議会構成機関（市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等）への巡回訪問回数（機関数）　77機関/ 77機関 児童虐待防止キャンペーンについては、昨年度同様に市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズやこども家庭センター案内のポケットティッシュを配置し、また駅前での啓発グッズの配布を実施しており、多くの方に目にしていただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、学校等に子どもが相談できるようこども家庭センターを案内するグッズを配布した。 関係機関を巡回訪問するとともに、児童虐待防止の啓発に努める。要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数（機関数）	75	維持	維持	維持	維持	維持		
					77					子ども・子育て会議意見	
3	ヤングケアラーの実態把握 （こども家庭センター・指導室） ＜重点事業＞	ヤングケアラーを早期に把握するため、関係機関と連携し実態把握を行う。	実態把握の実施	－	検討	実施	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	学校での実態調査について指導室と検討した。今後、具体的な実施に向けて課題の検討を行いたい。
										子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

4	ヤングケアラーへの理解・促進 （地域福祉課・こども家庭センター） ＜重点事業＞	ホームページ等で周知・啓発を行うとともに、要保護児童対策地域協議会及び重層的支援体制整備事業の会議体を活用し、関係者へ周知・啓発を行う。	要保護児童対策地域協議会での周知	－	実施	実施	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	【地域福祉課】 重層的支援体制推進会議において、ヤングケアラーも含めた制度の狭間にあるケースを扱っていくことを確認した。 【こども家庭センター】 ・市内小中学校の生活指導主事の先生向けの研修会を実施し、ヤングケアラーの支援について認識の共有を図った。 ・こども家庭庁作成のポスターを保健センター内に掲示し、来庁者向けの周知・啓発を図った。
			重層的支援体制整備事業の会議体での周知	－	実施	実施	継続	継続	継続		
										子ども・子育て会議意見	
5	ヤングケアラー支援における関係機関連携体制の構築 （地域福祉課・こども家庭センター） ＜重点事業＞	要保護児童対策地域協議会及び重層的支援会議との連携方法の検討・整備	関係部署による支援体制の検討	－	検討	実施	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	【地域福祉課】 各分野が分担して行う既存の体制では対応が難しい複雑化・複合化したケースについては、重層的支援体制整備事業として支援を行うことを検討する。 【こども家庭センター】 ・適宜連絡・調整が行えるが、明確な連携方法については引き続き検討を重ねていく。
										子ども・子育て会議意見	

目標2　子ども・若者が豊かな体験と仲間づくりができる

2-3. 子ども・若者の居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 （担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子どもの居場所づくりの推進 （子育て支援課・児童青少年課） **＜重点事業＞**	子どもの居場所に関するネットワークづくりを進める。	子どもの居場所に関するネットワークづくり	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和7年度子どもの居場所づくり事業補助金に関連し、説明会や連絡会を開催するとともに、市ホームページに補助金活用団体の紹介や子どもの居場所マップを掲載し、ネットワークづくりに努めた。 小金井子育て・子育ち支援ネットワーク協議会の子どもの居場所サイト「えにえに」のサイト更新に当たって協力し、その情報提供に努めた。 令和7年度に「キッズカーニバルKOGANEI2025」にて子ども達が楽しめるような小金井市の子育てに関する謎解き及び「居場所」に関する質問が書かれたアンケートを用意し、意見をもらった。また、子どもの居場所づくり事業補助金支給団体の居場所を利用する子ども達に向け、「子どもアンケート」を行い、子どもの居場所の認知度及び利用率やどのような「居場所」を求めているかを回答してもらった。
		子どもの居場所に関する指針を踏まえ、子どもや保護者が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを推進する。どの家庭も孤立せず、地域とつながるように、地域全体で家庭を支援する環境を整備する。	子どもの居場所づくり事業補助金補助支給団体数（団体）	10	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					13					子ども・子育て会議意見	
2	児童館事業 （児童青少年課） ＜重点事業＞	子どもの健全育成として、小学生対象のグループ活動などのほか、中・高校生事業、子育て支援、子育てグループの活動支援などについて、開館時間の延長も行い実施する。児童館事業の在り方について継続して検討する。	来館者数（人）	88,479	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	来館者数（人）　92,630人　開館延長時の利用者数（人）　24,074 人 令和7年度もコロナ禍前の状況と同じように事業を実施することができた。 来館者数、開館延長時の利用者数はともに増となった。 引き続き利用者のニーズを踏まえながら取り組みを継続していく。
					92,630						
			開館延長時の利用者数（人）	22,682	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					24,074					子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

目標3　子育て家庭が必要な支援につながっている

3-1. 母子保健（関連）事業を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
6	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 （こども家庭センター） ＜重点事業＞	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児保健相談利用者数（人）	438	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児保健相談・乳幼児健康相談・出張健康相談の3つの健康相談は、乳幼児健康相談（通称のびのび広場相談）と総称して実施している。 令和7年度の乳幼児健康相談は、昨年度と比べて、拠点（保健センター）と出張（公民館等）ともに利用者が増加した。少子化が進み、インターネット等で情報が得られやすい中でも利用者数がのびている背景として、乳幼児を育てる保護者に、育児不安があり、対面での育児相談ニーズがあることが考えられる。 次年度も引き続き、拠点と出張の相談を実施するとともに、実施場所により利用者数に大きなばらつきがあることから、実施会場の検討を行っていく。
					671						
			出張健康相談利用者数（人）	829	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					831					子ども・子育て会議意見	
13	子育て中の保護者グループ相談 （こども家庭センター） ＜重点事業＞	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流 を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数（人）	27	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	育児不安親支援事業について 育児不安や育児困難を抱えた親や育ちの中で課題を抱えた親などを対象に、虐待予防も含めた親支援のグループワークを行った。 令和7年度からこども家庭相談係から母子保健係に担当を変更して実施。より低年齢の親への働きかけができ、早くからの虐待予防対策として実施できている。昨年度より参加者は増加。定着率も高い。次年度に向けて個別地区活動との並行を強化し、グループの効果を高めていく。 保護者グループについて 子どもへの関わりずらさに悩む保護者に対し、親子あそびひろばゆりかごにてグループ活動を行った。職員より参加が適当と思われる保護者に対して参加を呼び掛けているため年度によって人数に増減がでるが、グループ活動を通して日頃の悩みを話し合い交流することで、子育ての不安の軽減の場となった。
					28						
			保護者グループ延べ参加人数（人）	17	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					10					子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

3-2. 子育てに関する相談・支援・情報提供を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子育て情報の提供 （子育て支援課） ＜重点事業＞	市報、ホームページ、SNS、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびーの！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、SNS、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	「みんなで子育て応援ブック　のびのびこがねいっ子2025」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。 また、小金井子育て・子育ち支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの拡充に当たって協力し、その広報に努めた。
			子育て支援サイト「のびのびーの！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続		
										子ども・子育て会議意見	
2	子育て総合相談 （こども家庭センター） ＜重点事業＞	こども家庭センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や 子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数（件）	6,013	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	総合相談延件数（件） 6,775件 前年度に比べてやや減少した。 年齢別相談対応者においては前年度と同様に、未就学児が最も多く、次いで小学生の年齢層が多い傾向にある。 いつでもだれでもが相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。
					6,775					子ども・子育て会議意見	

3-4. 子育て家庭の経済的負担の軽減、及び就労を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	施設等利用給付の上乗せ （幼稚園） （保育課） ＜重点事業＞	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数（人）	14,839	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数（人）： 11,374　　人 前年度と比べ、施設等利用給付の認定者が減少したことに伴い、上乗せ受給者数も減少した。 ・受給資格者における受給者数の割合（%）100 % 施設等利用給付認定を受けている児童の保護者全員に対し、負担軽減を実施することができた。
					11,374						
			受給資格者における受給者数の割合（%）	100	維持	維持	維持	維持	維持		
					100					子ども・子育て会議意見	
2	施設等利用給付の上乗せ （認可外保育施設） （保育課） ＜重点事業＞	一定の基準を満たす認可外保育施設に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数（人）	2,799	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	・受給者数　2698人（4月～3月分） ・受給資格者における受給者数の割合　100% ・受給資格者における受給者数の割合 受給資格者のうち、施設等利用給付の上乗せを受給しなかった者は、基本部分で保育料が無償化となったためであり、受給資格者全てに対し、負担軽減を実施することができた。 引き続き事業周知に努めるとともに、さらなる保護者負担軽減についても検討する。
					2,698						
			受給資格者における受給者数の割合（%）	100	維持	維持	維持	維持	維持		
					100					子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

目標4　子育ち、子育て家庭の困難が減額されている

4-1. ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
2	ひとり親家庭の相談支援事業 （子育て支援課） ＜重点事業＞	母子・父子自立支援員を配置し、経済上や生活一般に関する相談や自立に必要な支援を行う。	相談件数（件）	456	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	相談件数：443件 相談内容が高度化する傾向があり、これらに対応するために活用できる制度等情報収集に努めていく。 また、令和7年度は日本シングルマザー支援協会とひとり親家庭の自立支援を目的に連携協定を結んだ。民間のノウハウも活かし、より細やかな支援の充実を図っていく。
					443					子ども・子育て会議意見	
4	養育費確保のための支援 （子育て支援課） ＜重点事業＞	養育費の取決めを行うひとり親に公正証書作成等経費などを補助する。	養育費確保支援事業補助金申請件数（件）	6	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	申請件数：6件 養育費の履行確保に係る費用補助として，公正証書等による債務名義の取得支援を行った。
					6					子ども・子育て会議意見	

4-2. 特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）と家庭を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	認可保育所での特別支援保育 （保育課） ＜重点事業＞	保育所の全園で、可能な限り特別な配慮が必要な児童（医療的ケア児を含む）の保育を行う。	公立保育園の障がい児入所人数（人）	33	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	公立保育園の障がい児入所人数（33人）　　民間保育園の障がい児入所人数（97人）
					33						
			民間保育園の障がい児入所人数（人）	86	維持	維持	維持	維持	維持		
					97					子ども・子育て会議意見	
2	学童保育所での障がい児保育 （児童青少年課） ＜重点事業＞	学童保育所全所で障がい児の保育を行う。	希望人数に対する受入者数の割合（%）	100	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	希望人数に対する受入者数の割合（%）　97.1% 障害児保育審査会を設置し、心身に障害のある児童等の入所承認の可否、入所承認の取消し及び保育上の問題に関する事項について審査を行った。 次年度も引き続き、上記対応により学童保育所での障がい児の保育を行っていく。
					97.1					子ども・子育て会議意見	
3	障がい児の緊急・一時預かり （保育課） ＜重点事業＞	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	保育所での障がい児の緊急・一時預かりの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	一時保育の職員体制等の理由により、実施することは困難であるが、児童発達支援センターにおいて実施することを引き続き検討する。
										子ども・子育て会議意見	

のびゆくこどもプラン小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3(重点事業)

目標6　地域社会が子育てを見守り支えている

6-1. 地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子育て支援ネットワーク（子育て支援課） ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークをつくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育ち支援ネットワーク協議会参加団体数（団体）	119	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	子育て・子育ち支援ネットワーク協議会参加団体数：121団体 小金井子育て・子育ち支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、新規加入団体を増やしてきた。 なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育ち支援サイト等から把握に努めたところである。 次年度においても、小金井子育て・子育ち支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。
					121					子ども・子育て会議意見	

6-3. 地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子育てに配慮した公共施設の改善（子育て支援課） ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数：6件 市ホームページの掲載に加え、市報やX及びLINEでの広報に努めた。 引き続き周知に努め、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数（件）	3	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					6					子ども・子育て会議意見	低年齢の子と親のために利用率の低い集会所等を開放する、もしくは子どもの居場所として、利用率の低い集会所等を開放してはどうか。

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

目標1　子どもの最善の利益が守られている

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	上段：計画（年度）/実績（数値があるもののみ）　下段：結果					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	スクールカウンセラーの配置（指導室）	悩みなどを気楽に話し、心にゆとりを持てるような環境を提供するために、各小中学校にスクールカウンセラーを配置する。必要に応じ他機関と連携を図る。	相談回数(回)	12,570	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					12,133					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
4	巡回型スクールソーシャルワーカーの配置（指導室）	いじめ、不登校や虐待が疑われる児童・生徒及び問題行動傾向のある児童・生徒等への指導充実を図るため、専門的な資格を持つスクールソーシャルワーカーが定期的に巡回し、家庭や関係機関との連絡調整を行う。	相談件数(件)	328	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					123					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			訪問回数(回)	721	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1,766					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	教育相談事業（指導室）	専門相談員による教育相談を実施し、各校の教育相談担当教諭や他機関と連携しながら、子どもが抱える様々な問題に対応する。また、子ども自身が電話やインターネットで相談できる体制を作る。	相談件数(件)	1,951	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1,392					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	子ども（子育て総合）相談（こども家庭センター）	子どもの相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携し、子育ちのサポートなどを行う。	こども家庭センターでの小学生以上の相談延べ件数（件）	2,895	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					3,015					こども家庭センターでの小学生以上の相談延べ件数　3,015件	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

1-2. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	人権教育の推進（指導室）	各小中学校で人権教育教材（人権教育プログラム等）を活用し、各教科・総合的な学習の時間等すべての教育活動において人権教育の推進を図る。各小中学校から人権教育推進委員を選出し、市で年3回の研修を行う。	小中学校における人権教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	○予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
4	子どもの権利の地域における学習支援（公民館）	子どもの人権講座など、市民の学習会の支援を行う。	子どもの人権講座の実施	実施	維持	維持	維持	維持	維持	○予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

1-3. 児童虐待防止等の対策とヤングケアラーの支援を行います

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
2	ヤングケアラーの相談（地域福祉課・こども家庭センター）	こども家庭センター及び福祉総合相談窓口による相談の実施	相談件数（件）	－	実施	実施	実施	実施	実施	予定どおりに進んだ	○予定どおりにいかなかった
					0					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 ヤングケアラー相談件数　0件 引き続き、ヤングケアラーに関する啓発活動や関係機関との連携をしていく。	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

1-4. いじめや自殺を防止し、薬物の乱用や犯罪等から子どもを守るネットワークづくりを進めます

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	いじめ等の防止対策（指導室）	いじめや虐待、非行など何か問題に遭遇した子どもを早期に発見し、保護者を支援しながらその原因を取り除き、楽しく学校に通えるように地域と連携を図る。また、いじめ等が起こらないような教育や環境づくりを行うために、地域ぐるみの支援体制の構築に努める。	学校、家庭、地域が連携したいじめの防止等の活動の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			いじめ等の状況についての実態調査の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			いじめ問題対策委員会の開催回数（回）	2	維持	維持	維持	維持	維持		
					2						
	同（地域福祉課）		民生委員・児童委員による学校訪問事業での訪問学校数（校）	14	14	14	14	14	14	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					14					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（こども家庭センター）		要保護児童対策地域協議会での情報交換と支援	実施	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										要保護児童対策地域協議会において、適宜関係機関と連携し、支援体制の構築をすすめてきた。	
2	第2次小金井市自殺対策計画の計画的推進（健康課）	第2次小金井市自殺対策計画を基に計画掲載事業と連動させることにより、子ども・若者に関わる自殺対策の推進を図ります。	自殺対策推進本部による進行管理・評価・改善の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

3	子どもを犯罪から守る防犯対策 （地域安全課）	ボランティアによる市内パトロールなど、子どもが安心して過ごせるまちづくりを行う。学校、保育所や学童保育所などで防犯対策に努める。	パトロール実施回数（回）	203	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					249					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 ・安全・安心メール配信委託業者の見直し	
			こがねい安全・安心メール配信件数（件）	341	維持	維持	維持	維持	維持		
					373						
	同（学務課）		小学校通学路への防犯カメラの設置、小・中学校新1年生への防犯ブザーの貸与	実施	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										防犯カメラの維持 防犯ブザーの貸与実施	
	同（児童青少年課）		児童館及び学童保育所において訓練・研修会等を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
4	子どもを見守る家（カンガルーのポケット） （指導室）	登下校時の不審者に対する一時的緊急避難所として「子どもを見守る家」の設置を促進する。	登録件数（件）	1,016	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					904					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	セーフティー教室 （指導室）	薬物、インターネットを利用する際に起きる被害、加害、不審者対策等について学び、危険回避・犯罪防止等の能力を育成する。	セーフティー教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	薬物乱用防止の普及啓発 （健康課）	地域の関係機関との連携や支援により、思春期の子どもに対する啓発を行う。	東京都薬物乱用防止小金井地区推進協議会が行う啓発事業の支援	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 協議会委員の高齢化等の課題があるため、今後は従来の啓発事業以外に現体制で実行可能な啓発活動を検討する。	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

目標2　子ども・若者が豊かな体験と仲間づくりができる

2-1.子ども・若者の意思を尊重し、社会参加できる機会を提供します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	児童館における意見箱の設置（児童青少年課）	子どもや若者の考えや意見を表明できる場を作り、尊重する。児童館内への意見箱の設置や子ども主体による児童館事業を実施する。意見表明の場として各学校生徒会による意見交換会を実施する。	意見箱への投書数（通）	122	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					238					意見箱への投書数（通）　238通	
2	じどうかんフェスティバル（児童青少年課）		子どもの意見を反映した「じどうかんフェスティバル」の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	中学校生徒会による意見交換会（指導室）		中学校生徒会による意見交換会の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
4	YAサポーター（公民館）	小学校高学年から 25 歳くらいまでの若者が公民館で実施する講座の企画段階から参画し、若者自身の問題意識等に基づく主体的な学びを行う。若年のうちから公民館に親しむことにより、学びが循環する地域づくりにつなげる。	若者自主講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	多様な声を施策に反映させる工夫の実施（各課）	子ども・若者が、安心して意見を表明し、その意見が施策に反映されるよう、意見聴取に際し多様な手法を検討するとともに、十分な配慮や工夫をする。	子ども・若者に関わる各種計画の策定・進捗確認や事業実施等における意見聴取の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	子どもや若者の意見表明のサポート（各課）	子どもや若者が安心・安全に意見がいいやすい環境を整える。	子どもや若者の意見表明をサポートする人材の育成・活用	－	検討	実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

7	子どもや若者の意見反映 （児童青少年課・各課）	子どもや若者の意見を反映させるための仕組みを創出し、自己肯定感や社会の一員としての主体性を高める。	市政運営に子どもや若者の意見を反映させるための仕組みの創出	－	検討	実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子どもの意見聴取や意見表明に係る取組として、「小金井（しょうがねい）を変えちゃう人の会」を令和7年12月14日に実施。	
8	ボランティア活動への参加 （児童青少年課）	中・高校生ボランティアの参加を得る。また、ボランティア活動に参加しやすい環境を整え、子どもの参加意欲を高める。	中・高校生ボランティア登録・参加者数（人）	184	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					353					中・高校生ボランティア登録・参加者数（人）　353人	
	同（指導室）		ボランティアカードの小学校5・6年生及び中学生への配布	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

2-2.子ども・若者の多様な遊びや体験、活躍できる機会を応援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	子どもの体験事業（公民館）	「子ども体験講座」などを行う。 ※対象学年…講座による	子ども体験講座の実施	実施	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（生涯学習課）	清里の自然を生かした様々な体験教室を行う。 ※親子参加、夏・冬開催	清里山荘自然体験教室参加人数（人）	67	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					101					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（経済課・農業委員会）	※対象学年…小学校による	学童収穫体験事業参加児童数（人）	1,822	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1,507					学童収穫体験事業参加児童数（人）1,507人	
	同（児童青少年課）	野外事業（「わんぱく団」、「わんぱく号」）を実施する。	わんぱく団活動参加人数（人）	60	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					71					わんぱく団活動参加人数（人）　71人　　わんぱく号参加人数（人）　395人	
			わんぱく号参加人数（人）	311	維持	維持	維持	維持	維持		
					395						
	同（図書館）	※対象学年…小学5年生から中学3年生	小・中学生の1日図書館員・職場体験学習者数（人）	51	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					53					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	各種スポーツ事業（生涯学習課）	親や指導員も参加し、子どもとの交流を図れるよう「少年少女野球教室」「ジュニアサッカーフェスティバル」「親子体操教室」などを実施する。体育協会との連携により、少年少女スポーツ団体に対し、財政的支援を行う。	少年少女野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、親子体操教室、水泳教室などの延べ参加者数（人）	265	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					349					ジュニア野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、水泳教室などの延べ参加者数（人）349人	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

3	図書館事業 （図書館）	子どもと本を結び付けるために、おはなし会や各種行事を開催する。（おはなし会・おたのしみ会・工作会）	おはなし会参加人数（人）	1,183	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1,178					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			おたのしみ会参加人数（人）	112	維持	維持	維持	維持	維持		
					111						
			夏休み工作会参加人数（人）	56	維持	維持	維持	維持	維持		
					54						
4	はけの森美術館教育普及活動 （コミュニティ文化課）	はけの森美術館の展覧会の開催にかかる関連企画及び教育普及活動としてのワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業などを通し、子どもが美術を中心とする芸術活動に出会い、体験し、ゆたかな感性を育むことに努める。	ワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業等の延べ実施回数（回）	23	22				25	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										ワークショップ、鑑賞教室、学校への出前授業等の延べ実施回数（回）　22回 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 令和7年度の出前授業については、ワークシート形式での実施とした。また、鑑賞教室については小学校全校（9校）実施することができた。 その他、企画展関連ワークショップ等6回・ギャラリートーク4回、令和8年3月からの所蔵作品展ではギャラリーコンサートを1回・ワークショップ2回実施。	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

2-3.子ども・若者の居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	冒険遊び場事業（児童青少年課）	自然の中で子どもが自由な発想で自由に遊べる場（プレーパーク）を提供する。	プレーパーク来場者数（人）	15,629	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					16,657					プレーパーク来場者数（人） 16,657人	
4	校庭、公園等遊べる場の整備等（環境政策課）	子どもから高齢者までの憩いの場・交流の場、青少年が安心して遊べる魅力ある場の確保と環境づくりを行う。	子どもから高齢者までが参加できる公園イベントの実施	－	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			公園内遊具の点検・修理	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（生涯学習課）		遊び場開放延べ参加者数（人）	854	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2,682					気温や天気の関係で人数が減ったものの、日数としては予定通り実施している。	
			登録団体開放延べ参加者数（人）	54,246	維持	維持	維持	維持	維持		
					47,890						
5	子どもの公共施設の利用（公民館）	公民館、体育館等、子どもだけでも利用できる公共施設の充実を図る。	子どもの公民館ロビー利用の促進	ロビー開放	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（生涯学習課）		総合体育館・栗山公園健康運動センターでの中学生以下の利用者数（人）	27,154	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					36,867					総合体育館・栗山公園健康運動センターでの中学生以下の利用者数（人）36,867人	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

<table>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="3">中高生の余暇活動支援
（児童青少年課）</td><td rowspan="4">中・高生世代の余暇活動を支援し、居場所と交流の場を提供する。</td><td rowspan="2">児童館夜間開館事業延べ参加者数（人）</td><td rowspan="2">887</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>予定どおりに進んだ</td><td>予定どおりにいかなかった</td></tr>
<tr><td>1,872</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2" rowspan="2">児童館夜間開館事業延べ参加者数（人）　1872人　　バンド室利用延べ人数（人）　328人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バンド室利用延べ人数（人）</td><td rowspan="2">220</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td><td>漸増</td></tr>
<tr><td>328</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>同（公民館）</td><td>YA広場の実施</td><td>実施</td><td>継続</td><td>継続</td><td>継続</td><td>継続</td><td>継続</td><td>予定どおりに進んだ</td><td>予定どおりにいかなかった</td></tr>
<tr><td colspan="10">予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容</td></tr>
</table>

2-4.子ども・若者の社会的自立に向けて支援します。

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	教育支援センター「もくせい教室」（指導室）	不登校児童・生徒それぞれの状況に応じた支援を行うことで心の居場所とし、自分らしさを発見し、社会的に自立していくことを目指す。	入所人数（人）	139	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					79					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	不登校等児童・生徒への支援（指導室）	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家にいつでも相談できる環境を整備し不登校状態にある子を支援するためのアウトリーチを含めた活動を行う。	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置人数	35	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					35					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	子ども（子育て総合）相談（こども家庭センター）	子どもの相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携し、子育ちのサポートなどを行う。	こども家庭センターでの中・高校生等の若者に関する相談延べ件数（件）	－	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					932					こども家庭センターでの中・高校生等の若者の相談延べ件数　932件	
4	思春期相談（児童青少年課）	思春期の子どもからの相談に応じ、関係機関と連携を取りながら支援へつなげていく。	児童館における思春期相談の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
										東児童館での思春期相談件数（件）　31件	
5	福祉総合相談窓口（地域福祉課）	ひきこもりの方・ご家族の相談をはじめ、生活上のさまざまな不安等の相談に応じ、関係機関と連携し、支援を行う。	ひきこもり等若者に関する相談の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	若者支援における支援体制・連携体制の構築（関係各課）	若者の社会的自立に向けた支援体制の在り方及び連携体制の検討・整備を行う。	関係部署による支援体制の検討	－	検討	検討	準備	実施	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった（○）
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 他自治体の先進事例等情報収集に努めたが、関係部署間の検討には至らなかった。	
7	就労準備・社会参加支援事業（地域福祉課）	地域の社会資源を活用した就労準備・就労体験ができる社会参加支援事業を実施する。	事業参加者数（人）	－	実施	実施	実施	実施	実施	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					95					事業参加者数（人）：95人	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

目標3　子育て家庭が必要な支援につながっている

3-1.母子保健（関連）事業を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	両親学級(母性科)（こども家庭センター）	妊娠、出産、育児などに関し、必要な知識の普及や情報の提供、さらに親同士の交流や仲間づくりなど支援を行うため、妊婦とそのパートナーを対象とした教室を開催する。	平日コース（ひまわりクラス）参加者延べ人数（人）	67	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					96					参加人数の前年度比はアップした。（平日123.0%、土曜日101.6%）。 引き続き、限られた時間内で両親が共に子育てに関わっていけるようにプログラムを開拓し、継続していく。	
			土曜日コース（たんぽぽクラス）参加者延べ人数（人）	490	維持	維持	維持	維持	維持		
					507						
2	新生児等聴覚検査（こども家庭センター）	新生児期に聴覚検査を行い、早期に聴覚の障がいを発見して適切な支援につなげる。	新生児等聴覚受診者数（人）	715	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ（○）	予定どおりにいかなかった
					742					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	乳幼児健康診査（こども家庭センター）	乳幼児の健康状態の確認、病気の早期発見、乳幼児の心身の健やかな成長と保護者の育児支援を図るため、健康診査（身体計測・医師の診察・相談等）を行う。また、必要に応じて経過観察健康診査などを行う。	3～4か月児健康診査受診率（%）	97.7	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった（○）
					96.1					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 6～7か月児健診、9～10か月児健診の受診率は、これまでも、受診率向上のために、配布時期、配布方法、乳児検診でのアナウンスなど工夫してきた。次年度に向けて、アナウンス方法の改善など検討する。	
			6～7か月児健康診査受診率（%）	91.3	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					90.9						
			9～10か月児健康診査受診率（%）	90.8	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					85.9						
			1歳6か月児健康診査受診率（%）	95.9	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					96.6						

			3歳児健康診査受診率（%）	97.5	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					98.4					
4	予防接種事業（健康課）	各種予防接種に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、感染性の病気の発生やまん延を防ぐため、法令に基づき定期予防接種等を行う。	五（四）種混合接種率（%）	105.5	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					108					
			二種混合接種率（%）	72.7	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					75.4					
			麻しん風しん（第Ⅰ期）接種率（%）	94.4	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					98.1					
			麻しん風しん（第Ⅱ期）接種率（%）	91.9	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					91.2					
			日本脳炎接種率（%）	90.4	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					88.8					
			不活化ポリオ接種率（%）	0	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					0.2					
			BCG接種率（%）	106.7	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					99.2					

五種混合接種率（99.6%）
四種混合接種率（8.4%）
麻しん風しん（第Ⅱ期）接種率（91.2.%）
BCG接種率（99.2%）
子宮頸がん接種率（46.6%）
ロタ接種率（98.6%）

二種混合接種率（75.4%）
日本脳炎接種率（88.8%）
ヒブ接種率（1.0.%）
水痘接種率（90.4%）
おたふくかぜ接種率（92.1%）

麻しん風しん（第Ⅰ期）接種率（98.1.%）
不活化ポリオ接種率（0.2%）
小児用肺炎球菌接種率（99.8%）
B型肝炎接種率（99.7%）

予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容
・令和6年度の4月より五種混合ワクチンの定期接種が開始され、四種混合ワクチンにヒブワクチンを合わせた五種混合ワクチンが接種できるようになった。それに伴い四種混合及びヒブワクチンの接種者数は大幅に減少をしたが、五種混合ワクチンの接種率（R7　99.6.%）と合わせるとそれぞれ108.0%、109.6%となり、昨年度と変わらず高い接種率となっている。
・その他の予防接種については、接種率が概ね90%を超えており、高い接種率となっている。

	予防接種事業 （健康課）	各種予防接種に関する正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、感染性の病気の発生やまん延を防ぐため、法令に基づき定期予防接種等を行う。	ヒブ接種率（%）	99.9	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					109.6					
			小児用肺炎球菌接種率（%）	99.5	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					99.8					
			子宮頸がん接種率（%）	58.3	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					46.6					
			水痘接種率（%）	88.2	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					90.4					
			B型肝炎接種率（%）	102.2	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					99.7					
			ロタ接種率（%）	100.1	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					98.6					
			おたふくかぜ接種率（%）	86.4	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	
					92.1					

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

5	小児医療の充実 （健康課）	小児救急医療を確保し、充実を図る。また、休日準夜間診療の体制を維持する。	365日24時間の小児医療救急体制の確保	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										365日24時間小児救急医療体制の確保ができた。 全体診療科 19,116件、うち小児科　4,536件（23.7%）	
7	乳幼児歯科保健指導 （こども家庭センター）	乳幼児のむし歯予防や、からだ全体の健康づくりの一環として、歯科保健指導、予防処置などを行う。	むし歯予防教室実施者数（人）	119	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					113					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 多少の参加者の減少はみられるが、出生率の減少や共働き世帯が増えている状況を鑑み、今後も向上のためアナウンスの方法を工夫検討する。	
			歯科健診診査実施者数（人）	410	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					397						
			歯科予防処置実施者数（人）	175	維持	維持	維持	維持	維持		
					183						
8	栄養個別相談・栄養集団指導 （こども家庭センター）	離乳食やアレルギー食、食生活等の子どもの成長に関する食の悩みについて、栄養士との相談の場を提供する。また、食に興味を持ち、つくる楽しさ、食べる楽しさを意識してもらうため、親子でつくれる料理の紹介をする。	栄養個別相談利用者延数（人）	900	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					786					食への関心を高め、食に関する悩みを相談できる場として引き続き継続していく。	
			栄養集団指導参加者延数（人）	1,230	維持	維持	維持	維持	維持		
					1,530						
9	子どもへの食育の推進 （こども家庭センター）	子どもの発達段階に応じた食に関する情報提供など、地域、学校、子ども関係機関、事業者など、幅広い分野において食育に関する取組を行う。また、食育推進会議や食育推進検討委員会を開催し、事業の円滑な推進を実施する。	離乳食教室（1回食・2回食・回食・完了食）参加者数（人）	374	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					199					月齢や年齢にあわせた情報や相談の場を提供し、食への関心を高めることができるよう、引き続き継続していく。	
			乳幼児食育メール配信登録者数（人）	1,397	維持	維持	維持	維持	維持	離乳食教室（1回食）→※集団健診内で講義と試食を実施 離乳食教室（2回食） 参加者数：60人 離乳食教室（3回食） 参加者数：93人	
					1,495						

			子どもクッキング参加者数（人）	44	維持	維持	維持	維持	維持	離乳食教室（完了食） 参加者数：46人 乳幼児食育メール配信回数：毎月１回配信 配信者数（配信可能数）：1495人（0～1歳553人、2～3歳494人、4～5歳448人） こどもクッキング 参加者数：40人（親子20組）
					40					
	同（健康課）		栄養講習会（親子クッキング教室）参加者数（人）	6	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					16					実施者数：親子8組（大人8人子ども8人） 令和7年度は1～4年生対象で講義・調理体験・試食を行った。今後も継続していく。
	同（保育課）		食育計画及び年間行事計画を作成し、食育事業を実施している保育園数（園）	23	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					44					食育計画及び年間行事計画を作成し、食育事業を実施している保育園数（園） 公立5園、民間39園
	同（児童青少年課）		食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数（人）	154	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					170					食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数（人） 170人　　食事会・料理教室参加人数（人） 4,007人
			食事会・料理教室参加人数（人）	2,725	維持	維持	維持	維持	維持	
					4,007					
	同（指導室）		食育年間指導計画を作成し、食育を推進している小中学校数（校）	14	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					14					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容
	同（学務課）		地場野菜を献立に取り入れた給食を実施している小中学校数（校）	14	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ / 予定どおりにいかなかった
					14					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容
			生徒及び保護者に食育の啓発をしている小中学校数（校）	14	維持	維持	維持	維持	維持	
					14					

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

10	両親学級(育児科) （こども家庭センター）	妊娠、出産、育児などに関し、必要な知識の普及や情報の提供、さらに親同士の交流や仲間づくりなど支援を行うため、乳幼児と保護者を対象とした教室を開催する。	エンジェル教室参加者延べ人数（人）	295	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					369					エンジェル教室参加者　保護者424人（うち父親参加者数72名）、 子ども369人 カルガモ教室　参加者　保護者179人（うち父親参加者数14名）、 子ども167人	
			カルガモ教室参加者延べ人数（人）	128	維持	維持	維持	維持	維持	・親子遊び、保護者同士の交流や情報の提供、育児に必要な知識の普及等を図り、家庭で安心して子育てができる環境づくりにつながった。 ・初めての親子教室となることが多く、知識のみならず、交流、仲間づくりにつながり満足度の高い事業であり、今後も継続実施する。引き続き、周知や父親が来やすい環境づくりを推進していく。	
					167						
11	育児に困難を持つ家庭への支援 （こども家庭センター）	未熟児、多胎児、病気を持つ子どもと保護者が、情報や手段が得られることで、育児の困難さを軽減できるように、家庭訪問などの継続的な個別相談や親子同士が交流できる場を提供する。	未熟児（病児を含む）、多胎児に対する新生児訪問実数（件）	25	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					35					・未熟児の新生児訪問実数：14件 ・多胎児の新生児訪問実数：21件、 ・乳児幼児に対する保健師訪問実数：160件 ・個別継続支援実施延べ数：922件　（訪問延べ及び面案延べ件数）	
			乳児・幼児に対する保健師訪問実数（件）	226	維持	維持	維持	維持	維持		
					160						
			個別継続支援実施延べ数（件）	676	維持	維持	維持	維持	維持		
					922						
12	多胎児家庭移動支援事業 （こども家庭センター）	0歳、1歳、2歳を迎える多胎児家庭に対し、育児状況や困りごと等相談支援を実施するとともに、経済的負担の軽減を図るため、移動に要する経費として、ギフト券を提供する。	相談およびギフト券発行数（件）	38	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					47					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
14	低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業 （こども家庭センター）	低所得の妊婦について、経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回産科受診料（1万円）を助成する。	利用者数（人）	－	実施	実施	実施	実施	実施	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 令和7年度実績　1件 実績が十分でないことから周知方法を検討し、周知に努める。	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

3-2.子育てに関する相談・支援・情報提供を充実します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	育児支援ヘルパー事業（こども家庭センター）	産前・産後の妊産婦を介助する方がいない家庭を対象に、ヘルパーを派遣し、母体保護及び子育ての負担軽減を図る。	育児支援ヘルパー派遣件数（件）	75	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					70					・育児支援ヘルパー事業　利用者数70人（うち産前　6件、うち多胎児家庭　16件） ・産前及び産後4か月（多胎児は3年）以内またはその後において、支援が必要な家庭に、育児支援ヘルパーや子育て世帯訪問支援事業を実施することで、安心して子育てができる環境づくりにつながった。 ・支援が必要な家庭への事業であるため、関係する職員のスキル向上のための研修の実施や外部研修を積極的に受講し、今後も市民ニーズに即した支援提供ができるよう直接支援・間接支援両面の体制整備を行い、今後も継続実施する。	
			育児支援ヘルパー派遣時間数（時間）	1,497.5	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					1,001.50						
4	子育て施設の地域支援事業（保育課）	育児不安の軽減のため、保育所において保育所等体験、出産を迎える親の体験学習を実施する。また、学童保育所では空き時間を利用して子育てひろば事業を実施する。	保育所等体験（園）	21	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					33					保育所等体験　33園、出産を迎える親の体験学習　17園	
			出産を迎える親の体験学習（園）	11	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					17						
	同（児童青少年課）		子育てひろば事業（学童ひろば）の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	民生委員・児童委員の活動（地域福祉課）	子どもや妊産婦、ひとり親家庭などの総合相談、利用できる制度や施設、サービスの紹介。判断、治療、処遇を必要とする問題については、関係機関との連携を図りながら速やかな対応を行う。	子ども関係相談・支援件数（件）	318	724				350	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	子育ての仲間づくり事業（児童青少年課）	孤立化を防ぎ、仲間づくりを促進するため、親子のふれあい、親同士、子ども同士の交流を促進する。	幼児グループの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

7	子育て講座の開催 （生涯学習課）	妊娠、出産から思春期の家庭教育まで、ライフステージに応じた子育てなどに関する知識の普及や情報提供、保護者同士の交流や仲間づくりなどを行う。	思春期子育て講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			家庭教育学級の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

3-4.子育て家庭の経済的負担、及び就労を支援します。

番号	事業名称 （担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	保育所等における副食費の補助 （保育課）	保育所等在籍する子どもの保護者の経済的負担を軽減するため、副食費の補助を実施する。	受給者数（人）	44	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					171					受給資格者における受給者数の割合（%）100%	
			受給資格者における受給者数の割合（%）	100	維持	維持	維持	維持	維持		
					100						
4	乳幼児・義務教育就学児・高校生等の医療費の助成 （子育て支援課）	病気やけがにより、健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の児童が受けた場合に、自己負担すべき額から通院一回あたり200円を控除した額を助成する。（乳幼児は自己負担なし）	乳幼児対象児童数（人）	6,900	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					6,563					乳幼児対象児童数：6,563人 義務教育就学児対象児童数：9,852人 高校生等対象児童数：2,942人	
			義務教育就学時対象児童数（人）	9,436	維持	維持	維持	維持	維持		
					9,852						
			高校生等対象児童数（人）	2,673	維持	維持	維持	維持	維持		
					2,942						
5	愛育手当 （子育て支援課）	公的補助のない保育園等類似施設に在籍している満3歳から満5歳までの保育費補助等を受けていない幼児の保護者に手当を支給する。	受給者数（人）	14	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					7					受給者数：7人	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

6	小金井市奨学資金 （庶務課）	成績優秀であるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な高校生・大学生などに、修学上必要な学資金を援助する。	高校生等受給者数（人）	30	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					28					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			大学生等受給者数（人）	5	維持	維持	維持	維持	維持		
					5						
7	就学援助制度 （学務課）	経済的な理由により教育費（給食費、学用品費など）の支払いが困難な保護者に対して、教育費の一部を援助する。	小学生等受給者数（人）	380	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					338					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			中学生等受給者数（人）	201	維持	維持	維持	維持	維持		
					180						
8	雇用・再就職にかかわる支援事業の広報 （経済課）	子育てをしながら早期の就職を希望する方に、関係機関と連携し、パンフレット等を配布する。また、「こがねい仕事ネット」を通じ市内外の求人と就労に関する情報提供をする。	関係機関のパンフレット等の配布	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			「こがねい仕事ネット」を通じての求人と就労に関する情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
9	再就職の支援 （経済課）	関係機関と連携し、就職相談会、面接会、セミナーを実施するとともに、パンフレット等各種労働情報の提供を行う。	就職相談会、面接会、セミナー参加者数(人（延べ）)	288	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					382					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
10	女性のための再就職支援講座 （企画政策課）	再就職を希望する女性への支援を行う。	再就職支援講座参加者数（人）	16	4				30	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 市報、ホームページ、X、LINE等様々な手法で広報を行ったが、参加申込者数は想定よりも少ない結果となってしまった。一方、参加者への受講後のアンケート調査結果からは、全ての方が講座に満足いただいており、講座内容としては問題がない以上、もう少し講座内容について多くの方に伝わりやすい方法について検討する必要がある。	

目標4　子育ち、子育て家庭の困難が軽減されている

4-1.ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣 （子育て支援課）	20歳未満の子どもがいるひとり親家庭で、家事または育児などの日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣する。	周知や広報等の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			利用世帯数（世帯）	1	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	利用世帯数：2世帯	
					2						
3	母子生活支援施設への入所支援 （子育て支援課）	児童（18歳未満）の養育が十分にできない母子家庭に対し、経済的事情にかかわらず、母子生活支援施設への入所支援を行う。	必要とする世帯が利用できる相談支援体制の維持	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金支給事業 （子育て支援課）	ひとり親家庭の母又は父が就職する際に有利な資格の取得を推進するため、給付金を支給し経済的負担の軽減を図る。	母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金支給件数（件）	3	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					1					母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金支給件数：1件 母子及び父子家庭高等職業訓練給付金支給件数：0件 ひとり親家庭高等学校卒業程度試験合格支給給付金支給件数：0件	
			母子及び父子家庭高等職業訓練給付金支給件数（件）	1	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					0						
			ひとり親家庭高等学校卒業程度試験合格支給給付金支給件数（件）	0	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
					0						

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

4-2. 特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）と家庭を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
3	障がい児の緊急・一時預かり（自立生活支援課）	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	都型短期入所利用者数（障がい児のみ）（人）	2	0				3	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			短期入所事業利用者数（人）	25	25	25	25	25	25		
					26						
			日中一時支援事業利用者数（人）	6	4				7		
4	障がいの早期発見（乳幼児健康診査）（こども家庭センター）	各種の乳幼児健康診査や保健相談等の中で障がいを早期発見し、その障がいにあった適切な支援につなげる。	経過観察健康診査延べ人数（人）	33	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					40					・引き続き、障がいが発見された場合に速やかな支援につなげる。	
			発達健康診査延べ人数（人）	12	維持	維持	維持	維持	維持		
					16						
			心理経過観察健康診査延べ人数（人）	201	維持	維持	維持	維持	維持		
					187						

5	児童育成手当（障害） （子育て支援課）	障がいのある20歳未満の子どものいる保護者等に手当を支給する。	障害手当対象児童数（人）	57	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					50					障害手当対象児童数：50人 障害・育成手当対象児童数：12人	
			障害・育成手当対象児童数（人）	11	維持	維持	維持	維持	維持		
					12						
6	小中学校特別支援学級 （指導室）	知的障がいや情緒障がい、難聴・言語障がい等のある子どものため、特別支援教育の環境整備を行う。	個々の障がいに応じた指導の実施のため　個別指導計画を作成した割合（%）	100	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					100					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
7	児童発達支援センター事業 （自立生活支援課）	心身の発達に特別な配慮が必要な子どもとその家族に対して、ひとりひとりの子どもの特徴に沿った発達を支援するため、児童発達支援センター「きらり」で必要な相談、指導及び訓練等を実施する。また、子育て関係機関への巡回指導を実施する。	相談支援事業相談件数（初回）（件）	210	203				202	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談支援事業相談件数（件）　203 件　　親子通園事業利用者数（人）　30　人 外来訓練事業利用者数（人）　147　人　　子育て関係機関への巡回指導の実施　70　回	
			親子通園事業利用者数（人）	28	30				33		
			外来訓練事業利用者数（人）	150	147				151		
			子育て関係機関への巡回指導の実施	70	70				69		
8	医療的ケア児連絡調整体制整備事業 （自立生活支援課）	医療的ケア児が、その心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、関連機関との連絡調整を行うための体制を整備する。	連絡調整会議の実施	2	2	2	2	2	2	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

9	医療的ケア児支援コーディネート事業（自立生活支援課）	医療的ケア児と家族を支援し、相談支援、関連機関との連携を行う。	登録数	20	20	20	20	20	20	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					21					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

4-3.外国籍の子どもと家庭を支援します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	各国の言語による情報提供（広報秘書課）	外国語によるガイドブック、ハンドブック等の作成や生活に関する情報の提供を行う。市や教育委員会などのホームページでも提供する。	「外国人ガイドブック」配布部数（部）	200	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					373					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 国際交流事業を実施しているコミュニティ文化課といった関連部署への配架を検討したい。	
	同（学務課）		編入学等について市ホームページ翻訳機能により外国語で情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（ごみ対策課）		ごみ・リサイクルカレンダーに外国語説明を掲載	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	外国籍の幼児の教育・保育施設等利用支援（保育課）	外国籍の幼児が円滑に教育・保育施設等を利用できるよう、保護者及び教育・保育施設等に対し必要な支援を行う。	外国籍の幼児の利用支援の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	日本語指導補助員の派遣業務（指導室）	外国籍の児童・生徒に対して、日常生活および学習指導を円滑に営めるように日本語指導補助員を派遣する。	利用者数（人）	20	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					17					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
4	市立公園及び環境楽習館での交流イベント（環境政策課）	外国をルーツとする子どもが主体となり、地域交流につながるイベントを実施する。	交流イベントの実施	－	検討	実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
5	生活日本語教室（公民館）	市内在住・在学（中学生以上）の外国の方を対象に生活日本語教室を開催する。	生活日本語教室の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

4-4.家庭での子育ち、子育てが困難な場合にきめ細やかな支援をします

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	里親制度の紹介と周知 （こども家庭センター）	保護者がいないか、保護者がいても養育できない子どもを家庭的雰囲気の中で育てる制度。制度の周知を図る。	養育家庭体験発表会参加者数（人）	19	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					13					養育家庭体験発表会参加者数　13人	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

目標5　地域社会が子育ちを見守り支えている
5-1.子どもが安心して学べる環境をつくります

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標		実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
					R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	コミュニティー・スクールと地域学校協働活動による学校・家庭・地域が連携した子育ち環境の整備（指導室）	コミュニティー・スクール（学校運営協議会）の仕組みと地域創生のための地域学校協働活動の仕組みを連携させた子どもたちの成長を支える環境づくりを行う。	コミュニティー・スクール（学校運営協議会）と地域学校協働活動の実施		実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
											予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	学校図書館活動（指導室）	小中学校図書館に学校図書館補助員を配置し、図書の整理、貸し出し、検索照会サービス、読書指導などを行うことにより学校図書館活動の充実を図る。	貸出数（冊）	小学校	236,437	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
						530,239					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
				中学校	16,630	維持	維持	維持	維持	維持		
						46,569						
	同（図書館）		学級文庫貸出団体数（団体）		127	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
						135					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			調べ学習貸出団体数（団体）		16	維持	維持	維持	維持	維持		
						20						

3	国際性を育む教育 （指導室）	外国人英語指導員の配置による外国語教育、外国文化との交流、国際理解教育を行う。	実施時間数（1学級あたり概算）（時間）	小学校	18.35	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
						16.35					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
				中学校	6	維持	維持	維持	維持	維持		
						6						
				特別支援学級	6	維持	維持	維持	維持	維持		
						6						
4	特別支援教育 （指導室）	発達障がいがあり、集団生活に適応しにくい子どもが、在籍校や特別支援学級で適切な指導を受けることで、周りの子どもたちとの良好な関係が築けるよう支援する。	特別支援教育研修会実施回数（回）		5	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
						5					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			特別支援学級推進委員会実施回数（回）		8	維持	維持	維持	維持	維持		
						8						
5	子どもの学習支援事業 （地域福祉課）	生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯において、家庭状況等により支援が必要な子どもに対し、家庭訪問による学習支援を行う。	実施人数（人）		10	10	10	10	10	10	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
						9					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	市立公園等での花壇・菜園事業 （環境政策課）	不登校児童・生徒が公園で花壇や菜園の維持管理に関わり、地域の方等との交流を通じて、心の居場所を創出するとともに、新たな興味関心を高めることを目指す。	不登校児童・生徒と地域の方等との交流イベントの実施		－	検討	実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
											予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

5-2.子どもが地域の一員となるための学習と交流の場をつくります

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	異年齢交流（保育課）	小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通じて、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、子どもが地域の大人と交流できる場を設ける。	育児体験受入れ園数（園）	13	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					34					育児体験受入園数　34園	
	同（児童青少年課）		乳幼児との交流事業ボランティア参加者数（人）	24	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					12					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 乳幼児とのふれあい事業については前年と同じように事業を計画したが、結果として参加人数が少なかった。参加者増の取り組みを継続する。 乳幼児とのふれあい事業での保育ボランティア参加者数（人）　12人	
2	子どもが参加できる行事の促進（児童青少年課）	子ども週間行事等を通じて、地域住民や各種団体の協力を得ながら、健全な遊びや学びの場を設け、子どもの創意工夫による地域活動を促進する。	子ども週間行事参加者数（人）	1,431	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2,260					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容 雨天のため子ども週間行事1地区が中止になった。 子ども週間行事参加者数（人）　2,260人	
	同（各課）		子ども関連行事の後援・共催等（件）	―	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	各種催し物における、中高生ボランティアの受入（児童青少年課）	子ども週間行事などで中高生ボランティアの受入を実施する。	子ども週間行事ボランティア受入者数（人）	55	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					104					子ども週間行事受入者数（人）　104人	
4	地域諸団体への活動支援（児童青少年課）	青少年健全育成地区委員会や子ども会などの地域諸団体に対し、活動支援を行う。	補助金交付事業実施団体数（団体）	7	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					7					補助金交付事業実施団体数（団体）　7団体	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

5-3.子育ち、子育てしやすい生活環境等を整備します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	ユニバーサルデザインのまちづくり（自立生活支援課）	ベビーカーや車イスがゆったりと通ることができ、子どもが安全、快適に生活できるまちづくりを行うことによって、誰もがゆたかに暮らし「心のバリアフリー」が実現できるまちづくりを行う。	障がい特性の理解促進研修参加者数（人）	42	25				29	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（ごみ対策課）		路上喫煙マナーアップキャンペーン実施回数（回）	7	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					10					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	子どもにやさしい自然環境の整備（環境政策課）	市民に身近なみどりである公園等や、国分寺崖線（はけ）のみどり、湧水などの自然環境の保全のため、意識啓発を図るとともに、みどりを増やし、みどりゆたかで快適なまちづくりを行う。	公園等や国分寺崖線（はけ）のみどりを活用した環境イベントの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
3	幹線道路の整備（都市計画課）	すべての人々が安全で快適な生活が営めるように、歩道空間や道路の整備を行う。	市内都市計画道路整備率（%）	48.8	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					49.8					次年度に向けての課題、検討内容 小金井都市計画道路3・4・8号線の用地取得率等は令和7年度も進捗している。一方で、各路線の用地取得等については地権者の生活設計を尊重しながら個々に進捗している状況であり、まだ取得すべき物件が残っているため、道路の拡幅には至っていない。	
4	子どもが通る道の安全確保（交通対策課）	子どもが安全に過ごせるよう、学区域にとらわれず、通学路周辺の安全確保を行う。	市内小学校の通学路点検	9校	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					9校					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（保育課）	幼稚園、保育所等の散歩コースの点検を行う。	市内幼稚園、保育所等の散歩コース点検	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

5	交通安全教育の推進 （交通対策課）	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、交通事故防止を図る。	交通ルールの広報の実施	2回	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2回					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
			自転車交通安全教育の実施	2回	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2回					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
	同（指導室）		全小学校で交通安全教育を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
6	だれもが遊べる公園づくり （環境政策課）	だれもが居ていいと思える場所となるように、人や地域をつなげる役割を持つ理解のある地域人材との連携により、障がいのある方や外国ルーツの方の理解の増進を図り、インクルーシブデザインに配慮した遊具や菜園の活用を図る。	障がいのある方や外国ルーツの方の理解増進イベントの実施	－	検討	実施	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

5-4.地域の緑と環境を守ります

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	環境問題の意識向上や環境学習（環境政策課）	普及啓発事業として環境フォーラムや環境施設見学会等、さまざまな環境イベントを開催する。	環境イベントの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進に向けた啓発事業（ごみ対策課）	3R推進に向けた広報媒体の作成、出張講座などを行う。	小中学校、保育園等への出張講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

目標6　地域の子育てを見守り支えている

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
2	子育てグループへの活動支援（こども家庭センター）	市内の自主的な子育てグループなどのネットワーク化を図りながら、活動への支援を行う。	支援した自主グループ数と参加者数（団体数/人）	2団体 155	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					2団体 334					支援した自主グループ数：2団体 ・さくらんぼの会（多胎児家庭の自主グループ）年6回　参加者数：親　113人、子　120人 ・ひまわりママの会（発達に課題のある子どもを持つ親の会）年11回　参加者数：　101人	
3	ボランティアセミナー（生涯学習課）	国分寺市、小平市、小金井市と東京学芸大学が連携し地域や学校等で活躍するボランティアを養成する講座。ボランティア活動スタートへのサポート、スキルアップを目指す。	ボランティアを養成する講座の延べ参加者数（人）	575	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					626					予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

6-2.誰もが子育てと社会参加できる環境をつくり、ワーク･ライフ･バランスの実現を目指します

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
1	人権尊重、男女平等やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及・啓発（企画政策課）	人権尊重と男女平等の意識づくり、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及・啓発を行う。	こがねいパレット参加者数（人）	21	57				45	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			男女共同参画シンポジウム参加者数（人）	28	27				45	予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	
2	父親向け交流事業の推進（こども家庭センター）	こども家庭センター親子あそびひろばや児童館の子育てひろばにおいて、父親と子ども、父親同士の交流を図る事業を開催し、男性の育児参加を促進する。	こども家庭センター親子あそびひろば「ゆりかご」での父親交流事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										・お父さんと遊ぼう　年11回　父親125人　子ども120人 ・お父さんと遊ぼうスペシャル　年3回　父親15人　子ども16人 ・父親講座　年1回　父親16人　子ども5人 ・ひろばの父親利用人数　年間1,612人 ・父親同士、自然と会話が生まれ交流につながる人気イベントとなっている。ひろばの父親利用人数は増えている。 ・イベントは引き続き父親からの申し込みがあり、ひろばの年間利用は増加しているため、一定の利用定着がみられる。社会的に必要な事業と認識しており、市民ニーズとともに内容を適宜見直し、今後も継続実施する。	
	同（児童青少年課）		児童館の子育てひろばでの父親交流事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由・次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン　小金井（令和7年度～令和11年度）事業進捗状況評価表3（重点事業以外の事業）

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称（担当課）	事業の内容	参考指標	実績	計画（年度）/実績（数値があるもののみ）					結果（年度）	
				R5	R7	R8	R9	R10	R11	R7	
2	小中学校のスポーツ開放 （生涯学習課）	地域住民のスポーツ、レクリエーションの場として、小中学校の体育施設を開放し、市民の健康増進を図る。	スポーツ開放校利用者数（人）	3,065	維持	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
					3,859					スポーツ開放校利用者数（人）3,859人 一中クラブハウス利用者数（人）8,402人 南中テニスコート夜間開放利用者数（人）152人	
			一中クラブハウス利用者数（人）	7,065	維持	維持	維持	維持	維持		
					8,402						
			南中テニスコート夜間開放利用者数（人）	128	維持	維持	維持	維持	維持		
					152						